



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 1840

エポオールマイルド

1. 一般名 浸透性変性エポキシ樹脂塗料弱溶剤形
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴
- 1) 弱溶剤使用のため、臭気等も少なく、塗装作業環境を改善できる。
 - 2) あらゆる旧塗膜との付着性にすぐれ、ほとんどの上塗塗料が塗装できる。
 - 3) 素地調整が2種ケレン、3種ケレン (ISO-St3) でもすぐれた浸透性・付着性・防錆性を発揮し、塗り替え用及びプラスト処理が不可能な場合に適している。
 - 4) 無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた耐食性を発揮する。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	20 kgセット (主剤: 18 kg、硬化剤: 2 kg)				
色相	赤さび色、グレー、ライトグレー				
光沢	つや消し				
密度 (23)	塗料	1.35			
	揮発分	0.86			
粘度(23)	83KU				
加熱残分	72%				
乾燥時間	温度	5	20	30	40
	指触	1.5時間	1時間	30分	30分
	半硬化	16時間	6時間	5時間	4時間
標準膜厚	50 μm				
引火点	主 剤: 41、硬化剤: 41				
発火点	主 剤: 255、硬化剤: 255				
爆発限界(下限・上限)	主 剤: 0.6 ~ 7.0% 硬化剤: 0.6 ~ 10.5% (容量)				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の油、湿気、じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- (2) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- (3) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使用時間以内に使い尽くすこと。
- (4) 規定範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し更に、ウエスにて拭いて調整してから塗装すること。
- (5) 希釈には必ずマイルド下塗シンナーを使用すること。
- (6) 塗装終了後の使用機器は直ちにマイルド下塗シンナーで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

5. 塗装基準

項目	内容				
下地処理	ISO-St3(SSPC-SP3)				
調合法	主剤: 90部、硬化剤: 10部 (重量比)				
熟成時間	約 30 分間放置				
可使用時間	5	20	30	40	
	16 時間	6 時間	4 時間	2 時間	
塗装方法	刷毛塗り、エアレス塗装				
使用シンナー	マイルド下塗シンナー				
塗 装 法	塗装方法	刷毛塗り		エアレス塗装	
	希釈率	5 ~ 10%		0 ~ 5%	
	標準使用量	0.16 kg/m ²		0.42 kg/m ²	
	標準膜厚	50 μm		100 μm	
エアレス塗装条件	1次圧	0.4MPa(4 kg/cm ²)以上			
	2次圧	12MPa(120 kg/cm ²)以上			
	チップ	163-517 ~ 721			
塗 装 間 隔	温度	5	20	30	40
	最小	48 時間	16 時間	12 時間	8 時間
	最大	30 日	30 日	30 日	30 日

注1) 標準使用量の算出方法

刷毛塗り : 理論塗布量 × 1.3

エアレス塗装 : 理論塗布量 × 1.7

- 2) 上塗塗料がVトップH及びエポニックスの場合の塗装間隔は7日以内とする。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	指定可燃物
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示		
劇物表示		
エポキシ樹脂 硬化剤表示	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン

ホルムアルデヒド放散等級: F

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 引火性の液体である。
- (2) 有機溶剤中毒の恐れがある。
- (3) 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。